

第 15 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 3 年 7 月 28 日 (水) 15:00 ~ 16:30
方 法	WEB 会議
出席者	委員) 今井委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計 4 名 事務局) 堤局長、副島管理部長、伊藤総務課長、安武公金管理課長、瀧澤資金運用担当課長、春日井課長代理、落合課長代理、島寄主任、鈴木主任 計 9 名
欠席者	なし
議 題	1. 邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応 2. 外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応 3. 債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応 ※ その他 (報告事項) 「公金の運用保管状況について」
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第 15 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み対面の接触を回避する必要があるため傍聴者の受入れを見合わせた。また、本会議は設置要綱により、公開もしくは非公開について、委員の意見を聞くこととなっている。 委員 議題の内容を踏まえ、全員が非公開とすべきとの意見を表明。</p> <p>(3) 議題 1 「邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応」 事務局 預金先金融機関 (邦銀) の経営状況について、本決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (邦銀) の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関 (邦銀) の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委員 金融機関の評価に関しては、現在、企業の重要な評価軸となりつつある社会貢献度等非財務的な要素について考慮することも検討してはどうか。 事務局 社会的な要請が高まっていることについて認識しており、その点について、債券運用における取扱いも含め、どのように対応していくことが適切か今後検討していく。 委員 検討に当たっては、関係法令等を前提に議論を進めていくべきと考える。</p> <p>(4) 議題 2 「外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応」 事務局 預金先金融機関 (外国銀行) の経営状況について、本決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (外国銀行) の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関 (外国銀行) の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委員 外国銀行は、本決算時期が邦銀と異なり、この時期には、今期の状況も一部把握できることから、本決算の内容に加え、最新の情報も評価の参考としてはどうか。</p>

事務局 最新の情報である第1四半期の決算状況も評価の参考にしているところだが、説明資料に、それがどのように反映されているかわかりづらい面もあるので、今後工夫していきたい。

(5) 議題3「債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応」

事務局 債券発行体の経営状況について、決算等を踏まえて、健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものと考ええる。

(6) その他（報告事項）「公金の運用保管状況について」

事務局 現在の公金の運用保管状況を報告した。

委員 基金残高が減少するなどにより、前回会議時期と比べ、預金先の預金集中状況が緩和しているが、引き続き、更なる分散に向けた取組を進めていくことは必要であると考える。

事務局 今後も、公金の安全性確保を徹底すべく、一層の分散を目指し、公金の残高や支出の状況などを可能な限りきめ細かに見極め、金融機関の預金調達ニーズも把握しながら、適切に対応していく。

以上